



発寒ひかり
保育園だより

2025年
7月号

巻頭言

先日、サステナKIDSAWARDというコンテストで卒園児のAさん(小学5年生)が賞を受賞したという嬉しいニュースが届きました。サステナKIDSAWARDとは「地球温暖化が進む中で、子どものうちから環境を大切にする意識を育てる」という趣旨のもと作品を募集するといふものです。

今回受賞したAさんの作品は『車の悪いところ』というタイトルの4コマ漫画となっており「車を使いすぎると地球が暑くなってしまう。だから歩いたり、電車やバスに乗ったりしよう!」とみんなで出来ることを提案する内容となっていました。実はAさんが在園していた頃、クラス活動の中でエコについて色々考えたり、ごみ拾いや節電・節水等を積極的に行ったりと、環境問題について子どもたちと考える時間を大切にしていました。更に、卒園製作では「ちきゅうをまもう」というタイトルの紙芝居も作りました。そのことを忘れることなく、今でも覚えていると話してくれたAさん。保育園での経験を通して学んだことや感じたことが、卒園後も心に根付いていると知り、大変嬉しく思いました。

今年度もきりん組(5歳児)は、SDGsと結び付けながら様々な場面で環境について考える機会を設けたり、ファミリーではごみ拾いだけでなく、ごみの分別方法についても考えたりしています。公園に行くと、3歳児も「せんせい、ごみおちてるよ」と当たり前のように知らせてくれ、小さい頃から地球を大切にする気持ちに身に付いていると感じています。

環境の様々な問題が深刻化する今、私たち一人ひとりに何が出来るとでしょうか。子どもたちが生きていく未来が少しでも明るくなるよう「気付き・考え・実行する」ことを、保育園だけでなく、ご家庭でもお子さんと一緒に取り組んでみませんか?

フリー保育士 佐々木 礼香